

## 音楽科

# 「ふしづくりの教育」を取り入れた音楽科の授業開発

## —第1学年における授業実践を通して—

長澤 希

### 1 研究の背景と目的

音楽科は学校教育において、子どもの全人的な育成を担う役割がある。このことは、学習指導要領にも明記されて周知の通り、平成20年度の改訂以前から変わらない基本理念である。現行の音楽科の目標は、「音楽を愛好する心情」、「音楽に対する感性」、「音楽活動の基礎的な能力」という心情、感性、能力を互いに関連させながら育成することによって「豊かな情操を養う」ことを実現することにある。さらに、「共通事項」の新設は、音楽活動を通して獲得されるべき音楽的能力や「音楽学習を主体」とする授業の考え方を明確に位置付けた<sup>1)</sup>。つまり、音楽科も国語科や算数科と同じように、基礎的な要素を積み上げて能力を定着させていく必要があり、そこから創造性を開発し、発展的に伸びていく子どもを育成することが、音楽科の責務である。このような基礎的能力の育成とともに子どもの全人的な育成において、成果を上げた我が国の音楽教育法の1つに、「ふしづくりの教育」がある。

「ふしづくりの教育」とは、1960年代に岐阜県下の複数の小学校で成果を上げた、音楽的感覚や音楽能力の育成のためのふしづくり中心の系統的な音楽教育法である。当時の教育理念とは、義務教育後も、子どもが身につけた音楽の基礎的能力をもとに一人歩きできる力をつけるということであった。それはまた、他教科同様に全科教員が指導可能で、しかも子どもが主体的に授業に参加できる独自の音楽教育システムを創り上げることもあった<sup>2)</sup>。「ふしづくりの教育」では、それぞれの子どもの能力にあった創造活動ができるため、

子どもが意欲的に活動でき、主体性が育まれる。その意欲や主体性を備え、大人になっても発展的に自ら伸びていくことを目指して行われてきたということは、単に音楽的感覚や音楽能力の育成のみを目的としていたのではなく、音楽の基礎的能力を定着させるための指導でありながらも、それは、人間形成を目指した教育法でもあったと言える。三村(2013)<sup>3)</sup>も、岐阜県古川小学校における「ふしづくりの教育」が、「お互いに認め合い、助け合って1つのものを作り上げる学習は、すでに音楽教育の域を超えた、人間教育である<sup>4)</sup>。」と述べている。このような成果を上げた当時の「ふしづくりの教育」の史的背景は本稿では論じないが、当時の「ふしづくりの教育」の実践内容や方法から、現在の音楽科教育に何らかの示唆を得られることは確かであり、本研究において扱う価値があると考えられる。

「ふしづくりの教育」に関する著書やその理念・特徴・指導法等については、三村(2013)<sup>5)</sup>、三村・吉富ら(2012)<sup>6)</sup>、松永(2008)<sup>7)</sup>らの先行研究によって明らかにされているが、長期的な視野に立ち、系統的・段階的に実践された研究は少ない。また、様々な環境の変化に伴い、子どもたちを取り巻く音楽環境が変容している中で、現代を生きる子どもたちに「ふしづくりの教育」がどのような有効性をもつのか、実践している研究はない。

そこで、本研究では、「ふしづくりの教育」を取り入れた授業開発を行うことを通して、その有効性や課題を明らかにすることを目的とする。尚、本稿においては第1学年の実践に特化して論じることとする。

## 2 授業開発の視点

授業開発を行うにあたって、次の視点をもとに、実践を行った。

### (1) 二本立て方式

二本立て方式とは、【A学習】と【B学習】という2つの学習を柱とした音楽指導の方式である。

【A学習】では、今までに獲得した表現力を駆使して、あらゆる音楽を豊富に体験させ、【B学習】では、音を自覚的にとらえ、自由自在に駆使する能力を系統的に育てるように、授業を構成する。このような二本立て方式の授業実践は、1960年代から70年代にかけて提案され、実践されてきた音楽の基礎的能力の確実な育成に向けた取り組みであった<sup>8)</sup>。1960年代当時の「ふしづくりの教育」も、基礎学習としての「ふしづくり」と、教科書教材を中心とした表現や鑑賞の活動の2つの学習が1時間の授業の中で並列した二本立ての授業になっている。そこで、本研究で「ふしづくりの教育」を実践するにあたって、授業を二本立て方式で構成することとした。【A学習】では、教科書教材を中心とした活動を従来通り取り入れ、さまざまな曲に出会い楽しむことを目的とし、【B学習】では、表1のふしづくり指導計画一覧表<sup>9)</sup>を、児童の実態に合わせて変化させながら活用することで、音楽の基礎的能力を定着させていくことを目的とした。

### (2) 主体的な学習活動

「ふしづくりの教育」は、すべての活動が子どもが主体的な活動で行われている。岐阜県古川小学校の著書「ふしづくり一本道—基礎能力を培うために—」(1972)では、主体性を育む授業に必要なことは、①責任、②選択、③興味であると主張されている。

①責任については、次のように述べている。「表現も価値も判断も反省も注意も、自分自身がとらなければならない立場に追い込んでこそ、主体的に動かざるを得なくなるもの(中略)選ばなければふしが生まれないという責任がつかねについてまわってくる」(「ふしづくり一本道—基礎能力を

培うために—」より)。

表1 ふしづくり指導計画一覧<sup>9)</sup>

学年	学習項目	具体項目	単元	時間	指導項目	具体項目	単元	時間							
1	リズムのつなぐことばあそび	1 名前よび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	1 子ぎらふしの歌と合奏	2	15							
		2 動物、花、果物、物の名前よび	2			2 合 計	2								
		3 鳴き声あそび	1			3 15分間のふし	3		3 15分間のふし	3					
		4 リズムあそび	2			4 15分間のふし	4		4 15分間のふし	4					
		5 合 計	7			5 合 計	7		5 合 計	7					
		2	リズムのつなぐことばあそび			6 動物あそび	1		15	リズムのつなぐことばあそび	6 15分間のふし	6	15		
						7 ことばのリレーあそび	1				7 15分間のふし	7		7 15分間のふし	7
						8 鳴き声あそび	1				8 15分間のふし	8		8 15分間のふし	8
						9 動物あそび	2				9 15分間のふし	9		9 15分間のふし	9
						10 動物あそび	1				10 15分間のふし	10		10 15分間のふし	10
11 動物あそび	1			11 15分間のふし	11	11 15分間のふし	11								
12 動物あそび	1			12 15分間のふし	12	12 15分間のふし	12								
13 動物あそび	1			13 15分間のふし	13	13 15分間のふし	13								
14 動物あそび	1			14 15分間のふし	14	14 15分間のふし	14								
15 合 計	14			15 合 計	14	15 合 計	14	15 合 計			14				
3	リズムのつなぐことばあそび	16 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	16 15分間のふし	16	15							
		17 動物あそび	2			17 15分間のふし	17		17 15分間のふし	17					
		18 動物あそび	2			18 15分間のふし	18		18 15分間のふし	18					
		19 動物あそび	2			19 15分間のふし	19		19 15分間のふし	19					
		20 動物あそび	2			20 15分間のふし	20		20 15分間のふし	20					
		21 動物あそび	2			21 15分間のふし	21		21 15分間のふし	21					
		22 動物あそび	2			22 15分間のふし	22		22 15分間のふし	22					
		23 動物あそび	2			23 15分間のふし	23		23 15分間のふし	23					
		24 動物あそび	2			24 15分間のふし	24		24 15分間のふし	24					
		25 合 計	20			25 合 計	20		25 合 計	20	25 合 計	20			
4	リズムのつなぐことばあそび	26 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	26 15分間のふし	26	15							
		27 動物あそび	2			27 15分間のふし	27		27 15分間のふし	27					
		28 動物あそび	2			28 15分間のふし	28		28 15分間のふし	28					
		29 動物あそび	2			29 15分間のふし	29		29 15分間のふし	29					
		30 動物あそび	2			30 15分間のふし	30		30 15分間のふし	30					
		31 動物あそび	2			31 15分間のふし	31		31 15分間のふし	31					
		32 動物あそび	2			32 15分間のふし	32		32 15分間のふし	32					
		33 動物あそび	2			33 15分間のふし	33		33 15分間のふし	33					
		34 動物あそび	2			34 15分間のふし	34		34 15分間のふし	34					
		35 合 計	20			35 合 計	20		35 合 計	20	35 合 計	20			
5	リズムのつなぐことばあそび	36 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	36 15分間のふし	36	15							
		37 動物あそび	2			37 15分間のふし	37		37 15分間のふし	37					
		38 動物あそび	2			38 15分間のふし	38		38 15分間のふし	38					
		39 動物あそび	2			39 15分間のふし	39		39 15分間のふし	39					
		40 動物あそび	2			40 15分間のふし	40		40 15分間のふし	40					
		41 動物あそび	2			41 15分間のふし	41		41 15分間のふし	41					
		42 動物あそび	2			42 15分間のふし	42		42 15分間のふし	42					
		43 動物あそび	2			43 15分間のふし	43		43 15分間のふし	43					
		44 動物あそび	2			44 15分間のふし	44		44 15分間のふし	44					
		45 合 計	20			45 合 計	20		45 合 計	20	45 合 計	20			
6	リズムのつなぐことばあそび	46 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	46 15分間のふし	46	15							
		47 動物あそび	2			47 15分間のふし	47		47 15分間のふし	47					
		48 動物あそび	2			48 15分間のふし	48		48 15分間のふし	48					
		49 動物あそび	2			49 15分間のふし	49		49 15分間のふし	49					
		50 動物あそび	2			50 15分間のふし	50		50 15分間のふし	50					
		51 動物あそび	2			51 15分間のふし	51		51 15分間のふし	51					
		52 動物あそび	2			52 15分間のふし	52		52 15分間のふし	52					
		53 動物あそび	2			53 15分間のふし	53		53 15分間のふし	53					
		54 動物あそび	2			54 15分間のふし	54		54 15分間のふし	54					
		55 合 計	20			55 合 計	20		55 合 計	20	55 合 計	20			
7	リズムのつなぐことばあそび	56 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	56 15分間のふし	56	15							
		57 動物あそび	2			57 15分間のふし	57		57 15分間のふし	57					
		58 動物あそび	2			58 15分間のふし	58		58 15分間のふし	58					
		59 動物あそび	2			59 15分間のふし	59		59 15分間のふし	59					
		60 動物あそび	2			60 15分間のふし	60		60 15分間のふし	60					
		61 動物あそび	2			61 15分間のふし	61		61 15分間のふし	61					
		62 動物あそび	2			62 15分間のふし	62		62 15分間のふし	62					
		63 動物あそび	2			63 15分間のふし	63		63 15分間のふし	63					
		64 動物あそび	2			64 15分間のふし	64		64 15分間のふし	64					
		65 合 計	20			65 合 計	20		65 合 計	20	65 合 計	20			
8	リズムのつなぐことばあそび	66 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	66 15分間のふし	66	15							
		67 動物あそび	2			67 15分間のふし	67		67 15分間のふし	67					
		68 動物あそび	2			68 15分間のふし	68		68 15分間のふし	68					
		69 動物あそび	2			69 15分間のふし	69		69 15分間のふし	69					
		70 動物あそび	2			70 15分間のふし	70		70 15分間のふし	70					
		71 動物あそび	2			71 15分間のふし	71		71 15分間のふし	71					
		72 動物あそび	2			72 15分間のふし	72		72 15分間のふし	72					
		73 動物あそび	2			73 15分間のふし	73		73 15分間のふし	73					
		74 動物あそび	2			74 15分間のふし	74		74 15分間のふし	74					
		75 合 計	20			75 合 計	20		75 合 計	20	75 合 計	20			
9	リズムのつなぐことばあそび	76 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	76 15分間のふし	76	15							
		77 動物あそび	2			77 15分間のふし	77		77 15分間のふし	77					
		78 動物あそび	2			78 15分間のふし	78		78 15分間のふし	78					
		79 動物あそび	2			79 15分間のふし	79		79 15分間のふし	79					
		80 動物あそび	2			80 15分間のふし	80		80 15分間のふし	80					
		81 動物あそび	2			81 15分間のふし	81		81 15分間のふし	81					
		82 動物あそび	2			82 15分間のふし	82		82 15分間のふし	82					
		83 動物あそび	2			83 15分間のふし	83		83 15分間のふし	83					
		84 動物あそび	2			84 15分間のふし	84		84 15分間のふし	84					
		85 合 計	20			85 合 計	20		85 合 計	20	85 合 計	20			
10	リズムのつなぐことばあそび	86 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	86 15分間のふし	86	15							
		87 動物あそび	2			87 15分間のふし	87		87 15分間のふし	87					
		88 動物あそび	2			88 15分間のふし	88		88 15分間のふし	88					
		89 動物あそび	2			89 15分間のふし	89		89 15分間のふし	89					
		90 動物あそび	2			90 15分間のふし	90		90 15分間のふし	90					
		91 動物あそび	2			91 15分間のふし	91		91 15分間のふし	91					
		92 動物あそび	2			92 15分間のふし	92		92 15分間のふし	92					
		93 動物あそび	2			93 15分間のふし	93		93 15分間のふし	93					
		94 動物あそび	2			94 15分間のふし	94		94 15分間のふし	94					
		95 合 計	20			95 合 計	20		95 合 計	20	95 合 計	20			
11	リズムのつなぐことばあそび	96 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	96 15分間のふし	96	15							
		97 動物あそび	2			97 15分間のふし	97		97 15分間のふし	97					
		98 動物あそび	2			98 15分間のふし	98		98 15分間のふし	98					
		99 動物あそび	2			99 15分間のふし	99		99 15分間のふし	99					
		100 動物あそび	2			100 15分間のふし	100		100 15分間のふし	100					
		101 動物あそび	2			101 15分間のふし	101		101 15分間のふし	101					
		102 動物あそび	2			102 15分間のふし	102		102 15分間のふし	102					
		103 動物あそび	2			103 15分間のふし	103		103 15分間のふし	103					
		104 動物あそび	2			104 15分間のふし	104		104 15分間のふし	104					
		105 合 計	20			105 合 計	20		105 合 計	20	105 合 計	20			
12	リズムのつなぐことばあそび	106 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	106 15分間のふし	106	15							
		107 動物あそび	2			107 15分間のふし	107		107 15分間のふし	107					
		108 動物あそび	2			108 15分間のふし	108		108 15分間のふし	108					
		109 動物あそび	2			109 15分間のふし	109		109 15分間のふし	109					
		110 動物あそび	2			110 15分間のふし	110		110 15分間のふし	110					
		111 動物あそび	2			111 15分間のふし	111		111 15分間のふし	111					
		112 動物あそび	2			112 15分間のふし	112		112 15分間のふし	112					
		113 動物あそび	2			113 15分間のふし	113		113 15分間のふし	113					
		114 動物あそび	2			114 15分間のふし	114		114 15分間のふし	114					
		115 合 計	20			115 合 計	20		115 合 計	20	115 合 計	20			
13	リズムのつなぐことばあそび	116 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	116 15分間のふし	116	15							
		117 動物あそび	2			117 15分間のふし	117		117 15分間のふし	117					
		118 動物あそび	2			118 15分間のふし	118		118 15分間のふし	118					
		119 動物あそび	2			119 15分間のふし	119		119 15分間のふし	119					
		120 動物あそび	2			120 15分間のふし	120		120 15分間のふし	120					
		121 動物あそび	2			121 15分間のふし	121		121 15分間のふし	121					
		122 動物あそび	2			122 15分間のふし	122		122 15分間のふし	122					
		123 動物あそび	2			123 15分間のふし	123		123 15分間のふし	123					
		124 動物あそび	2			124 15分間のふし	124		124 15分間のふし	124					
		125 合 計	20			125 合 計	20		125 合 計	20	125 合 計	20			
14	リズムのつなぐことばあそび	126 動物あそび	2	15	リズムのつなぐことばあそび	126 15分間のふし	126	15							
		127 動物あそび	2			127 15分間のふし	127		127 15分間のふし	127					
		128 動物あそび	2			128 15分間のふし	128		128 15分間のふし	128					
		129 動物あそび	2			129 15分間のふし	129		129 15分間のふし	129					
		130 動物あそび	2			130 15分間のふし	130		130 15分間のふし	130					
		131 動物あそび	2			131 15分間のふし	131		131 15分間のふし	131					
		132 動物あそび	2			132 15分間のふし	132		132 15分間のふし	132					
		133 動物あそび	2			133 15分間のふし	133		133 15分間のふし	133					
		134 動物あそび	2			134 15分間のふし	134		134 15分間のふし	134					
		135 合 計	20			135 合 計	20		135 合 計	20	135 合 計	20			

②選択については、次のように述べている。「ふしづくりでは、リズムも、メロディーも、ハーモニーも、子ども自身が選ばなければふしが生まれないという宿命があるから能力が育つし、主体性が育つのである」（「ふしづくり一本道ー基礎能力を培うためにー」より）。

③興味については、次のように述べている。「”好きこそものの上手なれ”ということばがある。しかし、もう一步深く考えてみると、その基礎になるものは「能力」があるから楽しいのである。充実感も満足感も克服感もすべて能力があればこそ味わえる醍醐味といえよう。”上手こそ好きなれ”が本当だろう。ところがこの「能力」は主体的な活動量に比例して育つものであるから、結局、①責任②選択によって育つものといえる。そうすると③興味は①と②によって育てられた結果と思えば間違いない」（「ふしづくり一本道ー基礎能力を培うためにー」より）。

当時の実践資料を見る限り、①責任と②選択の場はすべて「ふしづくりの教育」の活動の中に常に存在していた。教材曲の譜面に記された強弱や速度記号の通りに歌わせるのではなく、子どもたちが感じて考えたことをありのままに表現し、自分たちで指揮をして歌い、ふしをつくり、伴奏をし、即興で演奏していた。主体的な学習活動を子どもたち自身がしていたのである。

本研究においてもこれら考えに依拠し、主体的活動に必要な①責任②選択③興味の3つを踏まえた学習活動を展開する。尚、本稿で述べる第1学年における主体的活動は、次のように設定した。

- 授業の中に、必ず個で表現する場を与えること。
- 多くの選択肢を与え、選択できる場を設定すること。
- 自分で決めて表現できる場を保障すること。

### 3 授業実践例（第1学年）

#### (1) 題材

- 教材・・・・・・・・・・「やまびこごっこ」

- ふしづくり・・・音楽ことばのリレーと旋律づけ

#### (2) 題材について

音楽ことばは、「音楽を構成しているのは、○ ○○V（たんたんたんうん）という3音の音楽ことばである」という「ふしづくりの教育」における解釈であり、子どもが音楽を再構成して育っていくための基礎として考えられてきた。本題材における音楽ことばも、その解釈を前提としている。1年生のはじめの時期は、より多くの音楽ことばを習得できる柔軟な時期であり、繰り返される音楽遊びの中で、体内により多くの音楽ことばを蓄積していくことを通して、今後の主体的な音楽活動の基礎をつくっていくことができると考える。また、教材曲「やまびこごっこ」は、同じ旋律と歌詞が、繰り返されて出てくる楽しさがあり、交互唱をしたり模倣唱をしたりすることによって、様々な活動の工夫を考えることができる。

#### (3) 指導について

指導に当たっては、前述した【A学習】と【B学習】の二本立て方式と3つの主体的活動場面を設定し、取り組んでいく。子どもが主体的に学習し、子ども同士で進めていけるように、教師は教えるべきところでポイントを押さえる以外では主導権をもたず、子どもに返していくことを前提として授業を進めていく。また、他者の表現の良さに気付けるように、個や小集団の考えを全体の中で取り上げ、全員で表現したり体感したりすることを通して共有できるようにする。

#### (4) 題材のねらい

##### 【A学習】

互いの声を聴き合い、「やまびこごっこ」の強弱を工夫して、楽しく歌ったり活動したりすることができる。

##### 【B学習】

あいさつことばに短いふしをつけて歌うことができる。

#### (5) 題材の目標と計画

##### 【A学習】・・・20分間を3回計画

互いの音を聴き合い、「やまびこごっこ」

を楽しく表現するための工夫ができる。

○歌おぼえ，階名唱・・・(1)

○交互唱，強弱の工夫・・・(1)

○交互唱，動きの工夫・・・(1)

#### 【B学習】・・・15分間を6回計画

3音の音楽ことばのふしをつくって歌ったり、リレーしたりすることができる。

#### (6) 授業の実際

本項では、本題材の【B学習】で行ってきた「ふしづくり」の活動の具体を中心に述べる。

第1段階では、これまで【B学習】で蓄積してきた音楽ことばに加えて、より多くのジャンルの音楽ことばを増やしていくことで、様々なリズムに出合い楽しんだ。子どもたちは、「〇〇〇V」の流れにのって、自分で選択した音楽ことばを表現し、一人の表現をみんなで真似したり、音楽ことばをつなげてリレーをしたりした。その際、くだもの、のりもの、おかしなどのイラストを多様に用意しておくことで、子どもたちが即座に選んで表現できるようにした。活動が進んでいくうちに、「イラストにないことばを言ってもいいですか。」という意見が出てきた。そこで、イラストにない好きな遊びや好きなこと、自分の名前、友だちの名前などが次々にリレーで進んでいった。子どもたちの選んだ音楽ことばのリズムを抽出していくと、8分音符や16分音符、タツカのリズムなど、難度の高いリズムも多いことが分かった。さらに、リレーをする際は、その日の係の子どもが速度を決める基本の拍を太鼓で叩いていたが、「もっと速くしてもできそう。」と発言し、学級全員の理解が得られたので、速度を変えて行うことになった。速度を変えた際に、自分の番でつまずいてしまう子もいたが、4拍の休みを感じ取ってから入ることができていた。ここで大切にすることは、個が選択した音楽ことばを必ず周りの子どもたちに復唱させることである。そのことにより、全員が共通の音楽ことばとして獲得していくとともに、一人ひとりの身体で感じさせるようにした。

第2段階では、子どもたちの日常で使うあいさつに着目し、どんなことばがあるかを思い出させ、

意見を出し合った。子どもたちから出たあいさつのことばは次の通りである。

これらのことばを「〇〇〇V」にのせて「あい

おはよう，こんにちは，さようなら こんばんは，ありがとう，おやすみ いただきます，ってきます，ただいま
---

さつことば」にして遊んだ。さらに、それらの「あいさつことば」に音高をつけて簡単な歌にし、友だちと真似し合ったり呼びかけあったりした。

第3段階では、【A学習】と【B学習】の関連を図りながら、「あいさつことば」や教材曲「やまびごっこ」の強弱や動きを工夫して歌うことを楽しめるように活動を行った。教材曲「やまびごっこ」の歌の中間部を創作部分とし、その部分に自分たちの考えた「あいさつことば」を歌にして表現し、発表した。中間部での創作では、「やまびごっこ」の既存のメロディーが子どもたちの頭に染みついていたために、あいさつことばに変えても音高が既存のものにつられてしまうことがあり、別の手立てが必要であると感じた。しかし、「あいさつことば」だけを取り上げて音高をつけた際には、わらべ歌の音階にもとづいて、様々なふしができていた。同じ「あいさつことば」でも、音高やリズムが異なることで、違った感じがすることも子どもたちが感じとっていた。

#### 4 第1学年のふしづくりの活動内容

岐阜県古川小学校の「ふしづくり一本道―基礎能力を培うために―」（1972）の「ふしづくり指導計画一覧表」の第1学年のステップと、本研究において実践したステップをまとめたものを次の表2、表3に示す。

表2のステップを基本とし、本研究においてステップを変化させながら実践してきた指導項目及び具体例が表3である。

表2 「ふしづくり指導計画一覧」の第1学年のステップ

ステップ	指導項目	具体項目
1	リズムにのったことばあそび	1 名前よび 2 動物、花、果物、物の名前よび 3 鳴き声あそび 4 リズムあそび
2	歌問答とリレー	5 問答あそび 6 ことばのリレーあそび 7 鳴きまねっこあそび 8 鳴き声あてっこあそび 9 頭とりあそび 10 敬あてあそび 11 お店やさんあそび 12 あそびましょ 13 しりとりあそび 14 物語のふしづけあそび
3	原形リズムのリズム唱	15 ことばのリズム唱あそび 16 タンタンタンのことばあてっこ 17 3字のことばでふしのリレー 18 リズム書きっこ
4	リズム分割①	19 かけ足リズムのことばあそび 20 かけ足リズムでことばのリレー 21 かけ足リズムの書きっこ
5	リズム分割②	22 ステップリズムのことばあそび 23 ステップリズムでことばのリレー 24 スキップリズムの書きっこ
6	リズムのまとめ	25 リズムあてっこあそび 26 カードあてあそび 27 リズムのうたの書きっこあそび 28 3拍子のリレーとリズム書きっこあそび
7	模唱奏	29 まねぶきあそび 30 リズムかえっこ 31 2人組のリズムかえっこ 32 3拍子のまねぶきとリズムかえっこ 33 すきなふしがし
8	ふしの問答唱とリレー	34 ふしのリレー 35 2人組のリズムかえっこ 36 すきなふしがし 37 合う「ふし」あてっこ 38 3拍子の問答奏あそび
9	階名唱	39 ドレミあてっこ 40 ドレミとリズムかえっこ

表3 第1学年のふしづくりの活動内容

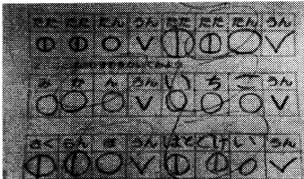
ステップ	指導項目	指導の留意点・具体例
1	名前呼びあそび	○わらべ歌の音階を用いる。 ○拍にのって続けることに慣れるまで毎回行う。
2	ことばあそび	○手拍子にのってことばが言えることを大事にする。 ○さまざまなイラストを用意しておく。
3	鳴きまねあそび	○問答唱する。
4	リズムあそび	○既習曲に合わせて、身体を動かす。 ○伴奏のリズムを変奏し、それに合わせた身体表現を行う。(足踏み、かけ足、スキップなど) ○いろいろな曲に合わせて、ペアや小グループで手合せあそびをする。
5	すきなものあそび	○「○○○V」のリズムにのって好きな動物、乗り物、果物などを問答唱する。 ○即興的に答えることに慣れる。
6	リズムあそび唱	○ことばをリズムに置き換えて答えることができるようにする。 【例】：「りんごV」→「たんたんたんV」 「りんごの木V」→「たたたたんV」
7	リズムの記譜	○音楽ことば→リズム唱→記譜の順で繰り返し行う。 
8	階名唱	○さまざまな既習曲の階名唱をする。 ○身体で音高を表したり、指で音符を押さえながら歌ったりする。

表3のステップ1「名前呼びあそび」とステップ8「階名唱」は、段階的に行うのではなく、継続的に行っていく上で設定し直した。また、表2のリズム分割①、リズム分割②は、表3のステップ4「リズムあそび」とステップ6の「リズムあそび唱」と新たな指導項目としてステップを入れ替えて設定した。表2の具体項目は、一通り経験させた上で、子どもたちの興味や関心にあったものを取り上げて行うようにしていった。

## 5 成果と課題

本研究の目的は、「ふしづくりの教育」を取り入れた授業開発を行うことを通して、その有効性や課題を明らかにすることであった。授業開発を行うにあたって、①二本立て方式で「ふしづくり」を行うこと、②主体的な学習活動に必要な3つの場面を設定すること、の2点を授業開発のポイントとして実践した。また、第1学年において取り入れた「ふしづくり」は、主に遊びを中心とした身体表現を中心に行ってきた。耳から入って感じ取らせることを大切に、聴こえたことは必ず表現（歌う、踊る、演奏する）することを繰り返し実践させた。

本研究の成果として、「ふしづくりの教育」の有効性を2点挙げる。1点目は、「ふしづくり」によって段階的な指導が可能となったことである。「ふしづくり」の細かな段階設定により、【B学習】として、導入の10～15分間程度の短時間で活動を行うことができる。このことは、低学年の子どもにとっては、活動が変化するため、飽きずに集中してできる良さがあった。短時間で行うので、「まだやるのか。」ではなく、「もっとやりたい。」という思いをもって次時へつなげていくことができた。また、授業パターンができてくると、子どもたちに見通しがもてるため、回を重ねる毎に、子ども同士の話し合いや意見によって授業を進めていくことができるようになってきた。例えば、ふしづくりの最初のステップである「名前呼びあそび」では、「○○さん」「はあい」をわらべ歌

の音階にのせて歌問答を行うが、はじめは教師の問いに子どもが答えるようになっていたが、だんだんと、教師と子ども、子どもと子ども、グループ内、のように様々に問答の体系が変わっていった。それは、子どもたちが音楽リーダーを中心として、「今日は〇〇さんの呼びかけで始めよう。」と話し合い、進めてきた結果の変容であった。これらを繰り返し学習していくうちに、問答唱に使われるわらべ歌の音階ミ（E4）、ソ（G4）、ラ（A4）を正しい音高で歌問答ができる力が身に付いてきた。問答唱ができるということは同時に、拍にのるという音楽における一番の土台となる基礎的能力を身につけたことにも等しい。

2点目は、個で表現することが当たり前でできる子どもが増えたことである。これは、授業開発のポイント②に関わることである。一人で歌問答をしたり表現したりすることができることで、教師にとっては個人の能力が見取りやすく実態を把握しやすい。また、子どもたちにとっては、一人ひとりの表現を聴く学習にもつながり、「友だちの表現を真似したいな。」、「友だちと違うことをやってみようかな。」、と表現の幅を広げていくことにもつながった。

一方、課題は2点ある。1点目は、【A学習】と【B学習】との関連についてである。第3項の実践例では、「やまびごっこ」の遊びと「あいさつことば」を関連させたことにより、それぞれの学習でのつまずきがあまり見られなかった。それは、「音楽ことば」に慣れてきた段階での学習であったため、子どもたちは戸惑いを感じることなく、「〇〇〇V」の流れにのって音楽ことばを唱えることができ、さらに音楽ことばに音高をつけるところにまで学習内容が高められたと考える。しかし、すべての題材やふしづくりの段階でこのような関連を図ることができたわけではない。【A学習】と【B学習】を関連させることで、子どもたちの学びを深めていく必要があると考える。

2点目は、ふしづくり指導一覧表の活用と変容における課題である。1～6年生まで30段階102のステップで構成されているふしづくりであるが、

それぞれ全てのステップを網羅しようとするのではなく、【A学習】における教科書教材の内容と関連させて行うことのできる内容に特化して再構成する必要がある。限られた時間の中で、付けた力と子どもたちが自ら学んでいきたいことを結び付けながら、ステップを再構成していくことで、教師も子どもも無理なく学んでいくことができるのではないかと考える。自ら伸びる子どもの育成を目指して、今後の研究において引き続きこれらの課題を検討していく。

#### <注および引用文献>

- 1) 吉富功修他：「小学校音楽科教育法 学力の構築をめざして」、ふくろう出版、p. 43, 2010.
- 2) 島崎篤子：「1960年代の学校教育における創作学習～わらべうたとふしづくり教育に着目して～」、『文教大学教育学部研究科紀要第46集』p. 127, 2012.
- 3) 三村真弓：「岐阜県古川小学校におけるふしづくり教育の理念と指導法の特徴―山崎俊宏の著書及び研究報告の検討をとおして―」、『広島大学大学院教育学研究科紀要第二部第62号』p. 354, 2013.
- 4) 前掲書3) p. 354
- 5) 前掲書3)
- 6) 三村真弓, 吉富功修, 松永洋介, 中村隆夫, 山崎俊宏：「岐阜県におけるふしづくりの音楽教育成立の軌跡」、『音楽教育学』第42巻第2号, pp. 72-76, 2012.
- 7) 松永洋介：「「ふしづくり」と「音楽づくり」をつなぐ創造性の系譜について（1「つくる」ことへのアプローチⅣ指導内容とカリキュラム）」、『学校音楽教育研究』12, pp. 119-120, 2008.
- 8) 前掲書1) p. 44
- 9) 岐阜県吉城郡古川町古川小学校：「ふしづくり一本道―基礎能力を培うために―」p. 11, 1972.